

表1 ドイツ復興・回復計画(DARP)の予算額(抜粋)

(単位:100万ユーロ、%)

分野	項目	金額	比率
気候政策およびエネルギー転換	特にグリーン水素(注)による脱炭素化	3,259	11.66%
	気候にやさしいモビリティ	5,428	19.42%
	環境にやさしい建設物の改装・建築	2,577	9.22%
デジタル変革	未来の素材としてのデータ	2,766	9.90%
	経済のデジタル化	3,137	11.22%
	デジタル教育イニシアチブ	1,435	5.13%
	社会的包摂の向上	1,259	4.51%
	パンデミックに対するより強固な医療システムの構築	1,864	6.67%
	近代的な公共行政サービス	3,475	12.43%
	投資障壁の撤廃	50	0.18%
合計(その他含む)		27,949.882	100.00%

(注)再生可能エネルギー由来の電力を利用して水を電気分解して生成される水素。CO2フリー。

四捨五入して表記したため、必ずしも合計が100%にならない場合がある。

(出所)連邦財務省の発表資料を基にジェトロ作成

表2 ドイツ復興・レジリエンス計画(DARP) 概要(抜粋)

分野	項目
気候政策およびエネルギー転換	水素研究を拡大し、企業の水素経済への移行を支援し、グリーン水素(注1)の供給に関する研究開発などの脱炭素プロジェクトを支援。
	電気自動車(EV)や電気バス、電気鉄道の購入をさらなるインセンティブにより支援し、50万台以上のEV、40万カ所の住宅における充電施設、5万カ所の公共充電施設、2,800台の代替燃料を使用するバスおよびその燃料充填インフラの整備を支援。 住宅のエネルギー効率を法的最低基準より大幅に上回る改装を支援。DARPの枠組みで4万戸以上の住宅のエネルギー効率を高める。
デジタル変革	データの革新的な利用に関する専門知識の構築支援によりデータ戦略の実施の基礎を構築。
	鉄道分野のデジタル化。
	新たな生産設備およびインダストリー4.0への投資や研究開発を支援。自動車産業への製造システムおよびバリューチェーンのデジタル化のためのさらなる刺激を提供。
	デジタル教育イニシアチブ、クラウドおよびデータ処理分野のIPCEI(注2)の実施、公共行政サービスのデジタル化、公共医療システムのデジタル化。

(注1) 再生可能エネルギー由来の電力を利用して水を電気分解して生成される水素。CO2フリー。

(注2) 欧州共通利益に適合する重要プロジェクト。公的支援が認められる。EUでは、欧州経済復興にかなうなどの条件を満たす場合を除き、域内の競争条件をゆがめる恐れのある国家補助は原則として禁止されている。

(出所) 連邦財務省の発表資料を基にジェトロ作成